

# BSOの 情報てんこもり

2020年3月17日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

## ◆次世代経営幹部養成研修「2020年度 霧研」 参加者募集

現代では経営者とともに中核人財の役割がますます重要になっています。現代そして未来に応えられる企業経営をクライアントと模索しその実現に挑戦しているBSOは、その一環として中核人財の育成をお手伝いしています。霧研では知識・技術だけでなく、その場で実践できるように、自身の課題を基点とした講義・課題研究（演習）から結果を出すことを目指します。ご興味のある方は、ぜひ詳細をお問い合わせください。

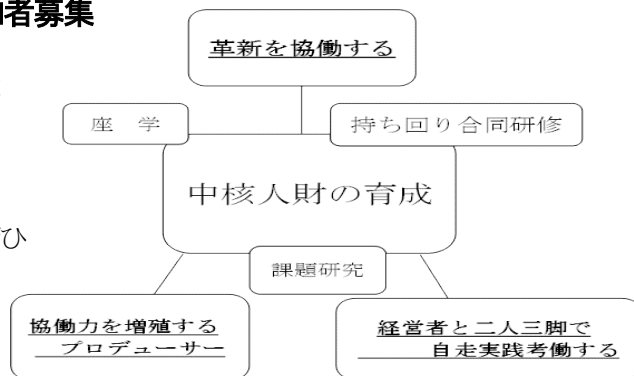
### ～カリキュラム～

- 第1部 マネージメントプロデューサーの必要性
- 第2部 中核人財・プロデューサーが具備すべき要件
- 第3部 経営・管理の技術
- 第4部 社会と共生共存
- 第5部 視察・交流（国内企業視察・海外研修）

※カリキュラムは5部構成で、全12回で取り組みます

### ～開催概要～

- \*対象\* 中核人財、経営幹部候補生、経営企画担当、事業後継者（原則として45歳程度まで）
- \*期間\* 2020年4月～2021年3月
- \*開催場所\* 鹿児島、高松、大阪（各地域10名まで）
- \*開催方式\* 1泊2日合宿、15:00～翌日11:00
- \*指導講師\* 西山 輝（BSO代表）



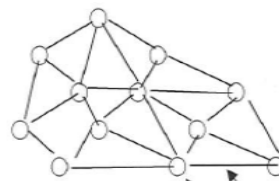
《今年度はシンガポール視察に行ってきました》

## ◆中小企業体質を活かす

中小企業でもIOTを活用する会社機能を持たなければいけない。自分たちで試行錯誤し一番で走れる方が良い。中小企業の体質はフル稼働し動けること。波が来ると大企業が一気に動きだす。試行錯誤のビジネスが次から次にでてくる。スタートアップ企業はこの2～3年の間にその中で淘汰される時代になる。第一段階は知恵の勝負、第二段階はパワー勝負、第三段階は資本の勝負、スタートアップの段階でお金を作らなければいけない。それには知恵が必要である。知恵が経営資源になる。この1～2年の間に遅れてしまったら、後れを取り戻すのは大変になりそうだ。

## ◆分散型機動的組織考働

粘菌システムとは①環境と共生する限り生き続ける、②構造体は分裂合体を繰り返す、③細胞がそれぞれの環境を認識し自走的な波動考働をする経営理論である。以前は「○」（右図）は社員という「細胞」だったが、今はIOTと考えて良い。○と○を繋ぐ線は5Gと考える。理念や方針のもとで「○」同士で話をし（情報交換し）最適な状況で動く分散型自動的な機動性を持った組織考働である。



（1月度C21プロフェッショナル・トップ研究会より）

※C21では、若手経営者又は経営後継者を対象に相互啓発の会合・勉強会を月に1回開催しています

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）

